



学校だより

市川市立稲荷木小学校

# 梨の花



HP QR コード



令和6年10月31日 第7号

「やさしく・かしこく・たくましく」

～子どもが夢を持ち、仲間と共に未来を切り拓く力を育む学校～



## 実りの秋

早いもので、もう11月。「実りの秋」です。秋といえば、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」などと言います。日本にある四季の中でも秋は、暑くもなく寒くもなく、とても過ごしやすく穏やかな気候なので、いろいろなことに集中できるといわれています。秋に頑張り努力したことが、冬を越し春に開花するともいわれます。

本校でも、実りある活動を推進すべく、過日行われた芸術鑑賞教室をはじめ、学年での社会科見学や行事、学習交流会が行われる時期となります。感動ある体験学習や地域とのふれあいを深める取組を行っているところです。

日々の授業では、子供たちの“笑顔あふれる授業”が常に見受けられます。それは、学習内容が分かり、子供が主体的に参加する姿が多く見られるということです。我々教師集団も、今日の学習課題を提示し、発問を工夫したり子供の発言の後の間を大切にしたりと、考える時間や書く時間を確実に設けるようにしています。

この「実りの秋」に子供たちがより一層成長できるよう、学校は、保護者、地域の皆様と一体になって、本校の活性化を図っていきたいと考えています。どうぞご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

## めざす児童像 あいさついっぱいやさしい子

「一秒の言葉」

小泉吉宏

「はじめまつり」

この一秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」

この一秒ほどの言葉に人の優しさを知ることがある

「がんばって」

この一秒ほどの言葉で勇気がよみがえってゆくことがある

「おめでとう」

この一秒ほどの言葉でしあわせにあふれることがある

「つめんなれど」

この一秒ほどの言葉に人の弱さを見ることもある

「やむを得ない」

この一秒ほどの言葉が一生の別れになる時がある

一秒に喜び 一秒に泣く

一生懸命 一秒

この詩は 1985 年の大みそか、民放の「ゆく年くる年」の CM として 1 回だけ放送されました。

放送後にはその短い言葉に心を打たれた方々からの反響が広がり、2008年には小学5年生「道徳」の副読本にも採用されました。

たった1秒のできるあいさつや言葉かけから人と人の心がつながっていき、幸せがいっぱい広がっていきます。たった1秒の言葉ですが、そんなすごい力をもっています。

例えば、日頃お世話になっている交通指導員の方に、「いつもありがとう」と声をかけるだけで、きっと交通指導員の方は日頃の疲れが吹っ飛ぶほど、幸せな気持ちになると思います。また、クラスで表情が暗い人に「どうしたの?」と声をかけるだけで、その子の気持ちはすごく楽になり、救われた気持ちになります。

子供たちには、相手の気持ちに気づき、あいさつや声かけができる人になって欲しいと願っています。そのために、少しの勇気を振り絞って“1秒の言葉”を自分から発するよう、指導・支援をしていきます。ご家庭でもぜひ“1秒の言葉”の大切さについて、お話をしてくだされば幸いです。

その前にまず、大人の私たちから子供たちに対して、“1秒の言葉”の声かけをするように心がけていきたいです。

## めざす児童像 **たくましく自分をのばす子**



【なわとびタイムの様子】今年度の取り組みとして、10/15(火)~10/28(月)業間休みの終わり5分間を短なわの練習時間に設けました。また、二重跳び大会も予定しており、10月29日(火)業間 予選、11/8(金)業間 決勝を行います。全校の子供たちが校庭に出て短縄に取り組み、体力向上、健康増進を図れればと考えています。



【陸上部の様子】10/25(金)市内陸上大会が開催されました。選手として参加した子供たちは20名です。残念ながら、どの種目も決勝には残れませんでした。稲荷木小学校の代表として一生懸命頑張りました。何より大切なことはそれまでの過程です。進んで毎日練習に取り組み、陸上競技を通して、体力・技能の向上に励んだこと、そこがたいせつです。選手になれなかった子供たちを含めて、これまでの取り組みに拍手を送りたいです。お疲れさまでした。